発行　2026 年 7 月 1 日
（第 52 号）

緑 風 会 ニュース

編集　一般財団法人　緑風会

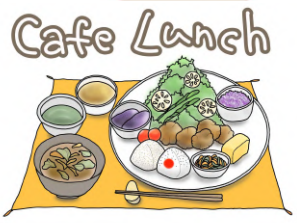
7月に入り、暑さが一段と厳しくなる季節を迎えました。この時期は熱中症や脱水症状のリスクが高まるほか、冷房による体調不良や夏バテを訴える方も増えてきます。特に高齢者や小さなお子さま、持病のある方は注意が必要です。日頃からこまめな水分補給や適切な室温管理を心がけ、体調の変化を感じた際は早めの受診をご検討ください。また、夏休みを迎える時期でもあり、生活リズムが変化しやすくなります。規則正しい食事と十分な睡眠を大切にし、健康的に夏を過ごしましょう。

入院棟 2 階
売店みどり からのお知らせ

※商品変更の可能性あり

カフェ･レストラン　ラコントル　からのお知らせ

いつもカフェ・レストラン　ラコントルを
ご利用いただきましてありがとうございます。
当店では、700 円～ランチ新メニューを始めました！



また、新発売！北広島町で作ったスイートポテトも好評です！
ぜひ、ご来店をお待ちしております。

プラザみどり

プラザみどりでは6/29(月)～7/7(火)まで
七夕の笹飾りを設置します。
短冊もたくさんご用意しておりますので、
願い事を書いて笹に飾り付けてください。

七夕

6/29(月)
～7/7(火)

凌雲棟カフェ
からのお知らせ

7 July
1(水)・3(金)・8(水)・10(金)
15(水)・17(金)・22(水)・31(金)
10:00~14:00 カフェメニューご購入者様へ

ダブルポイントタイム

涼しいカフェでひと息つきませんか♪

PayPay

一般財団法人 緑風会 凌雲棟カフェ

7月7日は「七夕」です。織姫と彦星が年に一度だけ天の川を渡って会える日として知られ、短冊に願い事を書いて笹に飾る風習が親しまれています。

実は、昔の七夕は現在の7月7日ではなく、旧暦の7月7日に行われていました。
旧暦では現在の暦より約1か月季節が遅れるため、2026年の旧暦7月7日は≪8月19日≫※ にあたります。
この日は「伝統的七夕」とも呼ばれ、梅雨明け後の澄んだ夜空のもとで天の川を眺めやすい時期です。

新暦の七夕に願い事を短冊に書き、伝統的七夕には夜空を見上げて星を楽しむなど、昔ながらの季節の行事に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

	新暦	旧暦
日付	7月7日	2026年は8月19日(水)
季節	梅雨～梅雨明け直後	夏の終わり～初秋
天の川	見えにくい(梅雨雲)	見えやすい(晴天が多い)
月齢	月による	必ず上弦前後(月が沈んで暗い)

旧暦では必ず上弦の月の前後になるため、月が早く沈んで夜空が暗くなり、天の川や夏の大三角が見えやすいのです。

※参照:国立天文台(NAOJ)